

たかしょう

七五三から思うこと

11月に入り、神社などで七五三参りをされるご家族を見かけます。七五三は、子どもの健やかな成長を願い、祝う行事です。由来は諸説あるようで、行事の行い方についても地域やご家庭によって違うようです。それでも、子どもの成長を願ったり祝ったりするご家族の思いは共通するものだと思います。

保育園・幼稚園や学校に入園、入学すると、子どもにかかわる大人が増えます。私たち学校教職員は、ご家族同様、子どもたちの成長を願い祝っています。どのような教育活動を進めれば、子どもたちはよりよく成長してくれるだろうか。高倉小学校の教職員は本当にみんな真面目に真剣にそのことを考え実践しています。できることが増えて成長を感じられるとみんなで喜びます。

何より、子どものよりよい成長のためにご家庭と心一つにして子どもたちを温かく見守っていきたいと思っています。七五三という区切りだけでなく、例えば10歳、小学校卒業などという節目もあります。当たり前のように生活しているけれど、子どもたちは日々大きく成長しています。その成長を、今生きているありがたさを感じながら成長していったほしいと思います。あっという間に成長していく子どもたちの今を大事にしていきたいと思っています。

スマイルキッズパーク

年間通してたてわり班活動を進めています。5月には全校遠足「キッズファミリー遠足」として城北公園でたてわり班活動をしました。また、週に1回水曜日の朝に全校児童集会を高学年の集会委員会が中心となって行っています。暑い時期や寒い時期には

放送での集会となりますが、基本的には運動場でたてわり班（キッズファミリー班）で集会を楽しみます。

11月には「スマイルキッズパーク」という全校でのお祭りをおこないます。これは、異学年で構成されたキッズファミリー班で遊びコーナーを運営したり、ペア学年で遊びコーナーを回ったりします。低学年は受付係として遊びに来たグループのカードにハンコを押したり、中学年は遊びのルールを説明したり、高学年は遊びの運営を中心となって進めたりします。自分たちで遊びの場を作ったり、自分たちで遊びを楽しんだりする主体的な活動です。先生たちはあくまでも困ったときのフォローだけしかしません。どうしたら楽しくこの行事ができるのか考えて活動してほしいと思っています。これからを生きる子どもたちにとってとても大切な活動だと思っています。

姿勢を正しくしよう

毎月、保健目標を設定しています。11月は「姿勢を正しくしよう」です。ほけんだより11月号では、正しい姿勢の確認の仕方を掲載しています。後頭部、肩甲骨、お尻、かかとを壁につけて立ってみます。腰と壁の間に手のひらがぎりぎり入る隙間ができるのが目安です。

姿勢についての研修に参加した教員から話を聞くと、ポイントを意識した姿勢が大事だそうです。舌を上あごにつけて姿勢を正すのがポイントの一つと教えてもらいました。（普通はそうならないはずです）正しい姿勢には、「病気になりにくくなる」「けがを防ぐ」「身長が伸びやすい」「学習能力が上がる」「ポジティブ思考&メンタルが強くなる」効果があるとも言われています。

子どもと一緒に大人も背筋を伸ばして姿勢を正してみませんか。体だけでなく、心も強くなるのは見逃せません。時々、子どもの姿勢、そして自分の姿勢も意識してみるといいですね。